

# 大船渡市 プレスリリース

定例記者会見資料  
令和5年11月10日（金）  
担当：保健福祉部地域包括ケア推進室  
（内線 439・440）

## チームオレンジ整備事業に係る「高齢者にやさしいお店」講座の開催について

### 1 趣旨

2025年には高齢者の5人に1人が認知症または認知症の何らかの症状が疑われるといわれる中で、誰もが認知症になっても、安心して住み慣れた地域で暮らし続けることができる社会の実現が重要になっています。

このことから、高齢者の暮らしを支える事業所に、認知症の理解とサポートの充実を図る講座を開催し、認知症と共生するまちづくりを目指します。

### 2 主催 大船渡市

### 3 対象 (1) 介護関係事業所 (2) 郵便局、金融機関、スーパー等の高齢者の暮らしに関する事業所

### 4 日時・会場 令和5年12月6日（水）午後6時30分から8時30分 大船渡市民文化会館リアスホール（マルチスペース）

### 5 内容

(1) 市長挨拶

(2) 説明：(仮題)「高齢者にやさしいお店」という取組で目指すこと  
講師 地域包括ケア推進室職員

(3) 講義：(仮題)「高齢者にやさしいお店」となるために  
講師 福岡県若年性認知症サポートセンター センター長 阿部かおり氏

平成12年より公益財団法人さわやか福祉財団のインストラクター（現在九州1ブロックリーダー）として活動。公益社団法人認知症の人と家族の会世話人（現在福岡県支部副代表）等を経て、令和3年4月からは福岡県若年性認知症サポートセンター長としても活動している。

また令和4年には、認知症当事者が買い物に行き支払いを忘れてしまうと万引きという犯罪行為にみなされてしまう実態を、県警や自治体だけでなく事業所等とともに考える「認知症の方の未払い行動を考えるシンポジウム」を開催し全国に発信している。

(4) 高齢者にやさしいお店ステッカー進呈  
：市長から代表事業者1名に進呈

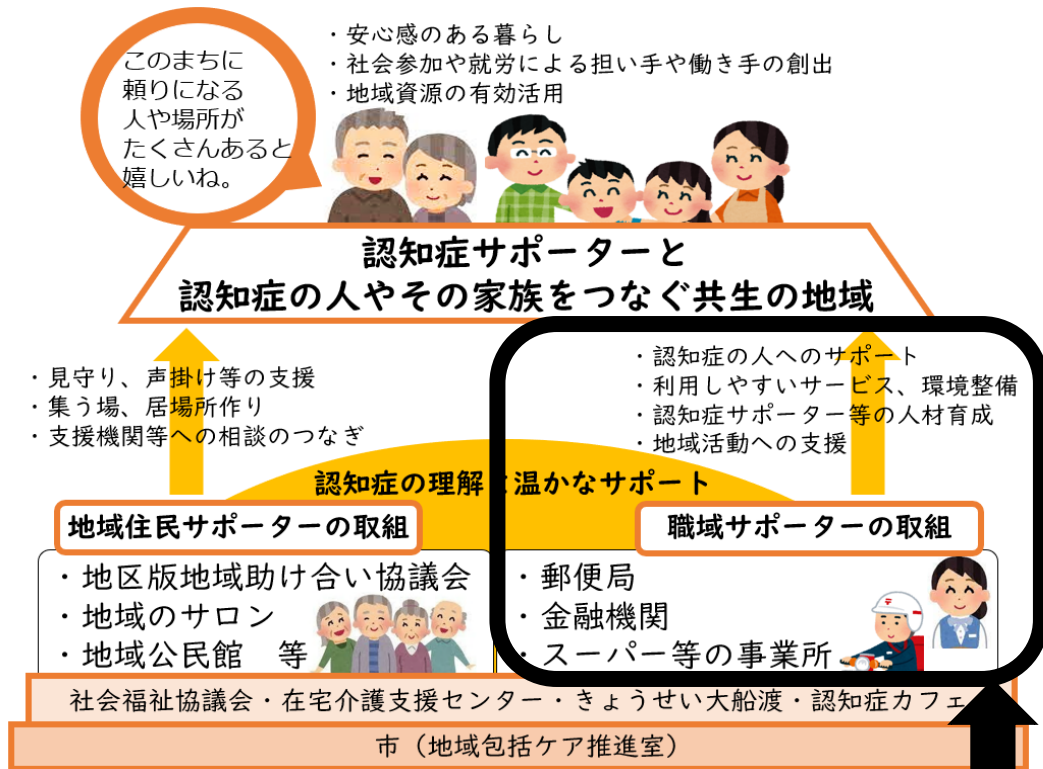
### 6 その他

受講した事業所は高齢者にやさしいお店、またチームオレンジのメンバーとして登録されます。登録後は市ホームページや広報大船渡等を通じて情報発信されます。

## 7 備考

### (1) チームオレンジとは

認知症や温かな対応について学んだ認知症サポーターと、認知症の人やその家族をつなぎ安心感のある暮らしを目指す仕組みであり、全国的に取組が進んでいます。市では以下のようにチームオレンジの整備を進めています。



本講座はこちらに向けて取り組みます。

### (2) チームオレンジ取組状況

今夏、社会福祉協議会や認知症カフェ等のコアメンバーによるキックオフミーティングを開催し、認知症の人や家族が暮らす中での様々な課題や支援について話合いました。その中で、相談先が分かりづらく不安であるとの意見から、気軽な相談に結びつくよう9月から下記カードを窓口で配布する等の周知活動を行っています。



もしかして**認知症**?  
体が弱ってきて心配…  
介護保険サービスって?

こんな時は  
**ご相談ください**  
相談窓口はうら面へ

名称・住所	担当地区	電話番号
大船渡市在宅介護支援センター (大船渡町字山馬越188)	大船渡町 赤崎町	27-8688
大船渡市福祉の里在宅介護支援センター (盛町字町6-1)	盛町、日真町 猪川町、立根町	25-1234
末崎町在宅介護支援センター (末崎町字平林48-1)	末崎町	22-1025
三陸在宅介護支援センター (三陸町越喜来字所通91)	三陸町	44-3577
大船渡市地域包括支援センター (盛町字下館下14-1)	市内	26-2943